

産業廃棄物処理計画書

令和 6 年 6 月 26 日

熊本県知事 殿

提出者

住所 熊本県人吉市城本町1088番地

氏名 株式会社 速永工務店
代表取締役 速永 一郎

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

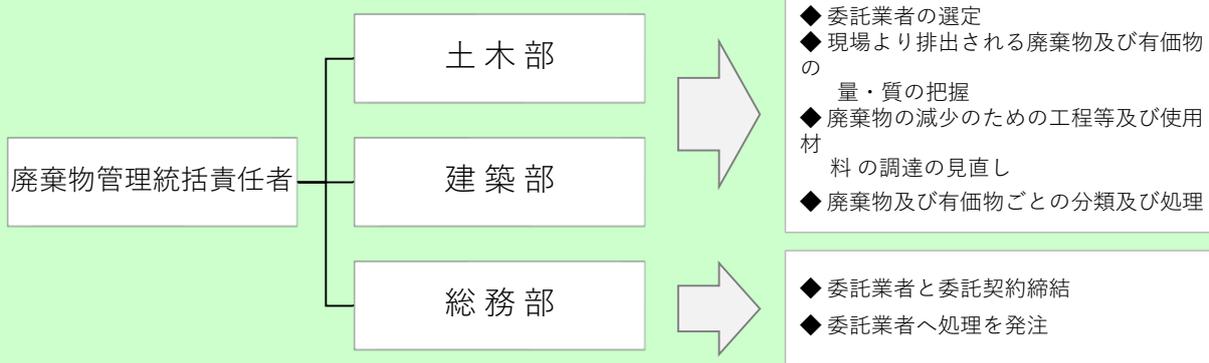
電話番号 0966-22-3985

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社 速永工務店
事業場の所在地	熊本県人吉市城本町1088番地
計画期間	令和 6 年 4 月 1 日 から 令和 7 年 3 月 31 日 まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	土木工事業、建築工事業
② 事業の規模	元請完成工事高（前年実績） 3,397,996千円
③ 従業員数	38名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	<p>産業廃棄物の発生 【土木工事及び建築工事等により（伐木・解体等）】</p> <p>↓</p> <p>収集・処分先への運搬 【自社運搬又は収集運搬業者との契約】</p> <p>↓</p> <p>処理施設 【処分業者との契約】</p>

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（5年度）実績】									
① 現状	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら	その他がれき類	ガラス・陶磁器くず	廃プラスチック類	金属くず	混合（安定型のみ）	石綿含有産業廃棄物
	排出量	1,263.70 t	136.66 t	37.96 t	55.73 t	14.12 t	1.91 t	16.44 t	0.00 t
	産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	繊維くず	廃石膏ボード	混合（管理型含む）	廃蛍光灯	建設汚泥	
	排出量	0.00 t	200.72 t	0.00 t	5.45 t	94.99 t	0.00 t	1.08 t	
(これまでに実施した取組)									
<ul style="list-style-type: none"> 産業廃棄物の搬出時にできる限り選別を行い、混合産業廃棄物の発生を抑制した 									
【目標】									
② 計画	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら	その他がれき類	ガラス・陶磁器くず	廃プラスチック類	金属くず	混合（安定型のみ）	石綿含有産業廃棄物
	排出量	1,150.00 t	120.00 t	34.00 t	50.00 t	12.00 t	1.50 t	14.00 t	0.00 t
	産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	繊維くず	廃石膏ボード	混合（管理型含む）	廃蛍光灯	建設汚泥	
	排出量	0.00 t	180.00 t	0.00 t	5.00 t	85.00 t	0.00 t	0.90 t	
(今後実施する予定の計画)									
<ul style="list-style-type: none"> 産業廃棄物の総排出量の目標を前年度比10%削減とし、削減に取り組む 産業廃棄物の発生時に再生利用できるものと出来ないものに選別を行い排出を抑制する 									

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)								
	<ul style="list-style-type: none"> 発生する産業廃棄物に対して、作業現場内にて分別を実施している 								
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)								
	<ul style="list-style-type: none"> 解体前に構造物の種類を確認して、再利用できるものと出来ないものに区別して選別を行い有効利用に努める 								

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（5年度）実績】									
① 現状	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら	その他がれき類	ガラス・陶磁器くず	廃プラスチック類	金属くず	混合（安定型のみ）	石綿含有産業廃棄物
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量								
② 計画	産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	繊維くず	廃石膏ボード	混合（管理型含む）	廃蛍光灯	建設汚泥	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量								
(これまでに実施した取組)									
【目標】									
① 現状	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら	その他がれき類	ガラス・陶磁器くず	廃プラスチック類	金属くず	混合（安定型のみ）	石綿含有産業廃棄物
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量								
② 計画	産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	繊維くず	廃石膏ボード	混合（管理型含む）	廃蛍光灯	建設汚泥	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量								
(今後実施する予定の計画)									

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（5年度）実績】									
① 現状	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら	その他がれき類	ガラス・陶磁器くず	廃プラスチック類	金属くず	混合（安定型のみ）	石綿含有産業廃棄物
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量								
② 計画	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量								
	産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	繊維くず	廃石膏ボード	混合（管理型含む）	廃蛍光灯	建設汚泥	
① 現状	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量								
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量								
(これまでに実施した取組)									
【目標】									
① 現状	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら	その他がれき類	ガラス・陶磁器くず	廃プラスチック類	金属くず	混合（安定型のみ）	石綿含有産業廃棄物
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量								
② 計画	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量								
	産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	繊維くず	廃石膏ボード	混合（管理型含む）	廃蛍光灯	建設汚泥	
① 現状	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量								
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量								
(今後実施する予定の計画)									

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（5年度）実績】									
① 現状	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら	その他がれき類	ガラス・陶磁器くず	廃プラスチック類	金属くず	混合（安定型のみ）	石綿含有産業廃棄物
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
② 計画	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら	その他がれき類	ガラス・陶磁器くず	廃プラスチック類	金属くず	混合（安定型のみ）	石綿含有産業廃棄物
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	繊維くず	廃石膏ボード	混合（管理型含む）	廃蛍光灯	建設汚泥	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
(これまでに実施した取組)									
【目標】									
② 計画	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら	その他がれき類	ガラス・陶磁器くず	廃プラスチック類	金属くず	混合（安定型のみ）	石綿含有産業廃棄物
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	繊維くず	廃石膏ボード	混合（管理型含む）	廃蛍光灯	建設汚泥	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
(今後実施する予定の計画)									

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（5年度）実績】									
① 現状	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら	その他がれき類	ガラス・陶磁器くず	廃プラスチック類	金属くず	混合（安定型のみ）	石綿含有産業廃棄物
	全処理委託量	1,263.70 t	136.66 t	37.96 t	55.73 t	14.12 t	1.91 t	16.44 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	8.55 t	0.00 t	0.00 t	0.13 t	0.00 t	t
	再生利用業者への処理委託量	29.85 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	t
	認定熱回収業者への処理委託料	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
② 計画	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら	その他がれき類	ガラス・陶磁器くず	廃プラスチック類	金属くず	混合（安定型のみ）	石綿含有産業廃棄物
	全処理委託量	t	200.72 t	t	5.45 t	94.99 t	t	1.08 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	0.00 t	t	0.00 t	0.61 t	t	0.00 t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	49.55 t	t	0.00 t	0.00 t	t	0.00 t	t
	認定熱回収業者への処理委託料	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
(これまでに実施した取組)									
<ul style="list-style-type: none"> ・再利用が可能な廃棄物は再利用業者へ処分を委託した (主な産業廃棄物の種類：コンクリートがら及びアスコンがら) 									

① 計画	【目標】									
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら	その他がれき類	ガラス・陶磁器くず	廃プラスチック類	金属くず	混合（安定型のみ）	石綿含有産業廃棄物	
	全処理委託量	1,150.00 t	120.00 t	34.00 t	50.00 t	12.00 t	1.50 t	14.00 t	0.00 t	
	優良認定処理業者への処理委託量									
	再生利用業者への処理委託量	500.00 t	60.00 t	14.00 t	25.00 t	5.00 t	1.00 t	7.00 t	0.00 t	
	認定熱回収業者への処理委託料									
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量									
	産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	繊維くず	廃石膏ボード	混合（管理型含む）	廃蛍光灯	建設汚泥		
	全処理委託量	0.00 t	180.00 t	0.00 t	5.00 t	85.00 t	0.00 t	0.90 t		
	優良認定処理業者への処理委託量									
	再生利用業者への処理委託量	0.00 t	180.00 t	0.00 t	2.00 t	40.00 t	0.00 t	0.00 t		
	認定熱回収業者への処理委託料									
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量									
(今後実施する予定の取組)										
<ul style="list-style-type: none"> ・収集運搬業者及び処分業者は選定を行い可能な限り優良認定処理業者及び再利用業者と委託契約を交わす ・今後も継続し、委託契約及びマニフェスト管理を確実にを行う 										
※事務処理欄										

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。